

# 所沢市民大学OB会 公開講演会

講師

## 高橋敏夫氏

早稲田大学文学部・大学院文学研究科教授



### 藤沢周平を愉しむ 権威と権力を嫌う作家

みずからのヒロイックな戦中体験への反省から出発した藤沢周平は、英雄豪傑を嫌いました。作品に登場するのは市井を生きる普通の人々であり、武家ものにあっても下級武士がほとんどです。

権力や権威はもとより、名声や裕福さからも遠いところで、あるときは清冽に、あるときは辛抱強く、いずれもかけがえのない豊饒な日々を人々は必死で生きています。

藤沢周平の権威嫌い、権力嫌いに作品、エッセイをとおしてスポットをあてます。

2002年、『藤沢周平—負を生きる物語』で第15回尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、多彩ジャンルでの文芸評論家、且つ学生アンケートで「早稲田で一番面白い授業」に選ばれた高橋先生のご講演をお楽しみ下さい。

日時 平成28年4月15日(金) 14時30分～16時30分

受付開始 14時10分

会場 所沢中央公民館ホール

〒359-1121 所沢市元町27番5号 電話 04-2926-9355

定員 先着200名(予約不要 聴講無料)

問い合わせ 所沢市民大学OB会

笹川(2948-6751) 秦(2924-5307)

縄田(2946-0228) 谷茂岡(2998-0936)

\* 高橋敏夫先生のプロフィールは裏頁に紹介しています \*

# 高橋敏夫先生の プロフィール

- 文芸評論家、
- 早稲田大学文学部・大学院文学研究科教授。 専攻は日本近・現代文学、文学理論研究。
- 文化庁舞台芸術国際フェスティバル実行委員、
- 文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員、
- 文化庁創造活動重点支援事業審査委員、
- 芸術選奨推薦委員。
- 日本社会文学会 理事(2005～)

- 香川県出身(1952年4月3日)
- 早稲田大学第一文学部日本文学科卒業。
- 1981年、早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。関東学院女子短期大学助教授
- 1994年より早稲田大学文学部・大学院文学研究科教授。
- 2002年、『藤沢周平—負を生きる物語』で第15回尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞。

学生時代より文芸評論家として活躍。しだいに演劇・映画・マンガ・音楽などにもその対象を広げ、近年は戦争論・沖縄文学・時代小説をむすびつけた文化批評・社会批評を展開している。

## 【著作】

『多様性の秩序—批評の現在』(1985、亜紀書房)

『文化としてのエイズ』(1987、亜紀書房)

『文学のマイクロポリテイクス—昭和・ポストモダン・闘争』(1989、れんが書房新社)

『ゴジラが来る夜に—「思想としての怪獣」の40年』(1993、廣済堂出版)のち集英社文庫

『嫌悪のレッスン—文学・ロック・身振り・ミステリー』(1994、三一書房)

『絶滅以後—閉じられていくステージで』(1997、論創社)

『それは危機からはじまった —『新世紀エヴァンゲリオン』、『アンダーグラウンド』、『楽園』、そして……』(1998、論創社)

『ゴジラの謎—怪獣神話と日本人』(1998、講談社)

『理由なき殺人の物語—『大菩薩峠』をめぐって』(2001、廣済堂ライブラリー)

『藤沢周平—負を生きる物語』(2002、集英社新書)

『周五郎流 激情が人を変える』(2003、日本放送出版協会・生活人新書)

『人生のことは、小説が教えてくれた』(2004、中経出版)

『藤沢周平と山本周五郎』(佐高信との対談、2004、毎日新聞社)のち光文社知恵の森文庫

『この小説の輝き!—20の名作の名場面で読む「人間」の一生』(2006年、中経出版・中経の文庫)

『藤沢周平という生き方』(2007、PHP新書)

『ホラー小説でめぐる「現代文学論」—高橋敏夫教授の早大講義録』(2007、宝島社新書)

『時代小説に会う! その愉しみ、その怖さ、そのきらめきへ』(2007、原書房)

『藤沢周平と江戸を歩く』(2008、光文社)

藤沢周平《人生の愉しみ》(2009、三笠書房・知的生き方文庫)

『藤沢周平の言葉』(2009、角川書店・角川SSC新書)

『「いま」と「ここ」が現出する 高橋敏夫書評集』(2009、勉誠出版)

『井上ひさし 希望としての笑い』(2010、角川SSC新書)

『時代小説が来る! 広く、深く、にぎやかに』(2010、原書房)

『ホラー王国日本 壊れゆく社会と人へのスプラッタ・イマジネーション』(『ホラー小説でめぐる「現代文学論」』の韓国語版、2012、韓国図書出版b)

『時代小説がゆく! 「なかま」の再発見』(2013、原書房、ISBN9784562049721)

『高橋敏夫批評選集 戦争・ホラー・闘争』(韓国語540頁 訳者郭炯徳、2014年10月6日、韓国グルヌルリム社、

ISBN9788963272726)近年の批評を中心に編まれた。推薦文又吉栄喜、ヤンソギル。

書評は学生のころから新聞・雑誌を合わせると、2500本位